



## 読書週間について

10月27日から11月9日の2週間は「読書週間」です。

今年の標語は、「この1冊にありがとう」です。この標語の作者、天野耕平さんは、『読書で心が震える体験は、何物にも代え難い奇跡のようなものだと思います。そして、自分の未来にはそんな奇跡がまだまだたくさん待っているという妙な確信もあります。本に関わっているすべての人に感謝を伝えたいです。』という思いでこの標語を作られました。

読書週間は、終戦まもない昭和22年「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・書店、公共図書館や新聞・放送のマスコミ機関も加わって、第1回読書週間が開催されました。そのときの反響はすばらしく、当初の期間は11月17日から11月23日までの1週間でしたが、翌年の第2回からは期間も文化の日を中心とした2週間と定められ、この運動は全国に広がっていきました。そして、「読書週間」は日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

読書推進運動協議会 HP には、「今、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに「本」は重要な役割を果たすことは変わりありません。」と書かれています。こんな時代だからこそ、「本」の重要性を改めて感じることはできるのではないのでしょうか。

福岡市では、平成29年2月に「福岡市子ども読書活動推進計画（第3次）」を策定し、家庭・地域・学校・図書館を中心に、関係機関や団体と連携しながら、創意ある取組みを推進しています。教育委員会では、読書推進活動の一つとして新入生に先生方から推薦された図書を※「新1年生へのおすすめ本リスト」にして配布しています。今年度も、小中学校に配布した「新1年生へのおすすめ本リスト」に記載した本を紹介しますので、読書週間に学校図書館などに展示されてみてはいかがでしょうか。

## ※「新1年生へのおすすめ本リスト」とは

教育委員会では、小学校や中学校の先生方から推薦された図書を紹介することで、新入生たちが学校での学習に興味を持ち、読書する本の幅を広げ、学ぶ力の向上と豊かな心の育成に資することを目的に、毎年、小学校、中学校に「新1年生へのおすすめ本リスト」を配布しています。このおすすめ本リストを作成するために、小学校、中学校の各教科の研究委員会や研究会に本を推薦していただいています。小・中学校に配布した「新1年生へのおすすめ本リスト」は、教育委員会ホームページに掲載しています。

### あなたへのおすすめのほんをしょうかいします!

ここに しょうかいしているのは しょうがっこうの せんせいたちが  
えらんだ おすすめの ほんです。  
うちのひとや おともだちと たのしくほんを よみましょう!



**こくご** をえらんだあなたには…



「おじさんのかさ」  
佐野 洋子(作・絵)  
講談社

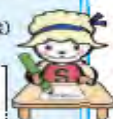


よんだら口にチェックをいれよう

**さんすう** をえらんだあなたには…



「くにおうさま」  
こすぎ さなえ(作)  
たちもと みちこ(絵)  
PHP研究所



よんだら口にチェックをいれよう

**おんがく** をえらんだあなたには…



「クマと森のピアノ」  
デイビッド・リッチフィールド(作)  
依 万智(訳)  
ポプラ社



よんだら口にチェックをいれよう

**ずがこうさく** をえらんだあなたには…



「ももいろのきりん」  
中川 李枝子(作)  
中川 宗弥(絵)  
福音館書店



よんだら口にチェックをいれよう

**かてい** をえらんだあなたには…



「おいしいおと」  
三宮 麻由子(文)  
ふくしま あきえ(絵)  
福音館書店



よんだら口にチェックをいれよう

**たいいく** をえらんだあなたには…



「ぺんぎんたいそう」  
齊藤 慎(作)  
福音館書店



よんだら口にチェックをいれよう

**せいかつ (しゃかい)** をえらんだあなたには…



「みんなのいちにち」  
たけうち ちひろ(作)  
アリス屋



よんだら口にチェックをいれよう

**せいかつ (りか)** をえらんだあなたには…



「なんだこれは」  
横山 寛多(作・絵)  
倍成社



よんだら口にチェックをいれよう



／ 中学校の先生たちが選んだ ／

あなたへのおすすめの本を紹介します!

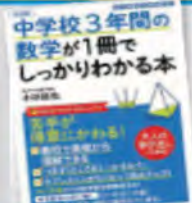
興味のある教科から  
本も読んでみよう



**国語** が好きなあなたに…  
**お探し物は  
図書室まで**  
青山 美智子(著)  
ポプラ社



**社会** が好きなあなたに…  
10歳から読める・わかる  
いちばんやさしい  
**民主主義**  
五野井 春夫(監修)  
東京書店



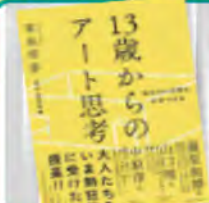
**数学** が好きなあなたに…  
**中学校3年間の数学  
が1冊でしっかり  
わかる本 改訂版**  
小杉 拓也(著)  
かんざ出版



**理科** が好きなあなたに…  
**アライブ  
生きている体  
ポップアップ人体図鑑**  
イアン・スミス(作)  
アニタ・ガネリ(文)  
須田 都三男(訳) 大日本絵画



**音楽** が好きなあなたに…  
**くちびるに歌を**  
中田 永一(著)  
小学館



**美術** が好きなあなたに…  
**13歳からの  
アート思考**  
永水 幸歩(著)  
ダイヤモンド社




**保健** が好きなあなたに…  
**強くなりたい  
きみへ!**  
エティール・ジョーンズ(著)  
講談社



**技術** が好きなあなたに…  
**ものづくりに生きる**  
小関 智弘(著)  
岩波書店



**家庭** が好きなあなたに…  
**ウソでしょ!? マジです!!  
たべものびっくり事典**  
こざき ゆう(文)  
えのき のこ(イラスト)  
ポプラ社



**英語** が好きなあなたに…  
学校では教えてくれない  
大切なこと20  
**英語が好きになる**  
関 和之(マンガ・イラスト)  
旺文社

なるほどと思う本ばかりです。

1年生に限らず多くの子どもたちに読んでほしい本です。自分の得意教科、苦手教科、興味のある教科どれからでも、読んでほしいと思います。





## 本の帯を使った10・11月の掲示・展示

運動場の木々も紅葉が始まっている頃でしょうか。「読書週間」は、図書館をいつもと違う掲示で秋色いっぱいに取りたいですね。





## 11月の人どもの



### 11.20 世界こどもの日

1989年「子どもの権利条約」が採択された11月20日を世界こどもの日としました。すべての子どもに人権を保障する法的拘束力を持った初めての国際条約。どのような暴力からも保護される権利を確保するよう定めています。

### 11.23 勤労感謝の日

戦前は「新嘗祭」といって天皇がその年に穫れた穀物を神様に捧げて感謝する儀式でした。1948年「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう日」、勤労感謝の日として制定された国民の祝日です。

### 11.26 ペンの日

1935年11月26日ペンクラブの創立を記念して30周年に制定されました。国際ペン憲章の主旨に基づいて、言論・表現・出版の自由を擁護し、文化の国際的交流を増進し、世界平和に寄与する目的で創立されたもので、初代会長は島崎藤村です。

北原 白秋(1885.1.25~1942.4.11.2)

福岡県柳川市出身。詩人、歌人。雑誌「明星」に作品を発表し1909年には最初の詩集『邪宗門』を出版しました。児童雑誌「赤い鳥」に参加して童謡を作り「ゆりかごのうた」「このみち」など数多くの国民愛唱歌を生み出しました。

手塚 治虫(1928.11.3~1989.2.9)

漫画家。ペンネームの治虫は昆虫のオサムシが好きだったことからつけられました。代表作は『鉄腕アトム』『ジャングル大帝』『ブラック・ジャック』『火の鳥』など多数。作品に共通するテーマとして生命の尊さがあります。

まど・みちお(1909.11.16~2014.2.28)

山口県生まれの詩人。最初の詩集『てんぷらぴりぴり』で野間児童文芸賞を受賞。「ぞうさん」「やぎさんゆうびん」など数多くの童謡を生み出しました。1994年国際アンデルセン賞作家賞を受賞。2014年104歳で亡くなりました。

【あとがき】夏の暑さも去り、吹く風が少し肌寒く、木々の緑も赤や黄色に色づき始める秋になりました。「秋晴れ」の日は、外で大きく深呼吸したり、自然に触れてみたりと、秋を五感で感じたいですね。また、秋は「読書の秋」と言われるように、読書に適した季節です。公民館、区の図書館、総合図書館などさまざまな所で本を借りて読むのも良いですね。 (足立)



今月は楽しみながら食文化に触れることができる絵本を紹介します。

『干したから… ふしぎびっくり写真えほん』

森枝 卓士／写真・文 フレーベル館 2016年 ¥1,400(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年★★☆ 小中学年★★★ 小高学年★★☆ 中学生★☆☆

高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

表紙には干した果物の写真。色とりどりで美味しそうです。この本は、干した食べ物についての写真絵本です。しいたけ、梅干し、ほし柿、パスタ…私たちの身の回りにはいろいろな「干したもの」があります。干さなくても食べられるのに、なぜ干すのか、干したらなにが変わるのかについて話が進みます。カトオからかつお節ができる様子もあります。知らなかった子もいるのではないのでしょうか。

本では世界の干したものも紹介していきます。ネズミやカエルの干物を売る市場、干しバナナを作る人、屋根の上で干されるチーズなど、異国の暮らしを知ることができます。

鮮やかでわかりやすい写真と共に、自然の恵みと人間の知恵を感じることができる1冊です。

<子どもに手渡す時のポイント>

最初のページには赤い色をした「干したもの」が載っています。「これ、なーんだ?」と問いかけてみてください。ページをめくるとその正体と、干されて変化していく様子がわかりますので、紹介の導入に使ってみてはどうでしょう。

最後のページには、実際に干し野菜を作る方法がついています。家庭で簡単にできますのでよかったらこちらも案内してください。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。



発行：福岡市教育委員会

総合図書館 図書サービス課

電話：092-852-0639

FAX：092-852-0801